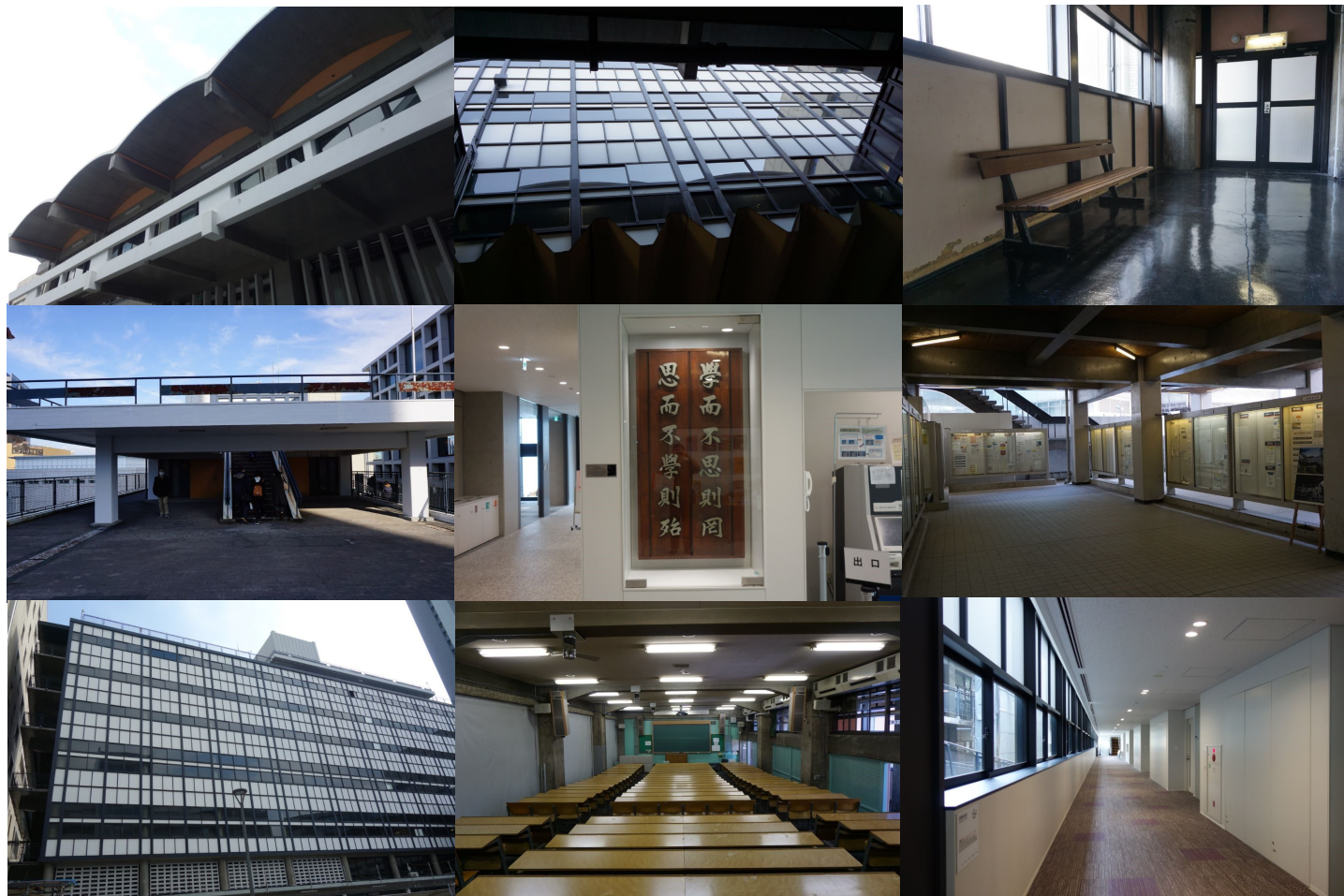


公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第29号

令和3年1月発行



令和2年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会中止のお知らせ

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で公認会計士試験の実施日程が例年の8月から11月に延期され、合格発表が本年2月16日(予定)とされたことから、公認会計士試験合格祝賀会の開催は延期することにいたしました。

目次

会長挨拶	2	校友会終身会員新規登録者(所属変更を含む)	5
雑感	4	令和元年度公認会計士試験合格者の近況	6
「法政士業の会」便り	5	編集後記	8
会費等納入の御礼	5		

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



公認会計士法友会の会員の皆様、新年のご祝詞を申し上げます。各位の各業界分野でのご活躍をお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス禍で終始した大変な年でしたが、皆様にはお変わりございませんでしたでしょうか。2021年が皆様にとりまして明るく輝かしい年であることを祈念申し上げます。

会員の皆様には、いつも多大なるご支援とご賛同をいただき、誠にありがとうございます。本年度は、当

会の定期総会等の行事は中止せざるを得ない状況でしたが、郵便振替や銀行振込により、毎年のように貴重な浄財をご寄附いただいている会員の皆様方には、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを更に高めることができますのも、会員の皆様方のご尽力とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

現役員体制で6年目となりましたが、法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめとする役員の方々の精力的なご対応とご協力を受けながら、なんとか務めさせていただいております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面、会員の皆様との懇親の場を設けることができませんが、オンライン会議等での役員会活動を継続しております。今後とも引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

今回も、最近の法友会活動についてのご報告を中心に、今後の活動方針を述べさせていただきたいと思っております。

【『法政大学校友会』の活動への参画と協力について】

前号でも報告いたしましたが、法政大学の卒業生団体の組織である一般社団法人『法政大学校友会』において、我が公認会計士法友会はその有力なパートナー組織として、石川正敏副会長が『法政大学校友会』の「理事」に、飯塚 昇副会長が同会の「監事」として、会の運営や活動に参画し活躍されております。

『法政大学校友会』は、法政大学の発展に寄与することを目的に、「法政のネットワーク創り」と「全ての世代が集い繋がる」、校友が一体となった活力ある組織を形成し、母校・卒業生・社会への貢献を目指して活動しております。

一昨年度において、当会の『法政大学校友会』活動への協力と運営への積極的な参画についてご理解をいただき、多くの会員有志の皆様方よりご賛同ご寄付を賜り、これを原資にして新たに25名の会員に終身会員登録をしていただきました。あらためて会員諸氏のご協力に深く感謝申し上げます。

また、2013年度以降卒業の若手会員(校友会の各年度卒業生同期会会員)におかれましては、パートナー組織(公認会計

士法友会へ)の所属変更手続きにご協力をいただきました。ご協力いただきました若手会員の皆さんには、厚く感謝申し上げます。

(なお、未だ手続きが済んでいない若手会員諸氏にはおかれましては、速やかに下記の法友会HPにアクセスして、公認会計士法友会への所属変更手続きをお願いいたします。

https://www.hoseinet.or.jp/nendo_doukikai/)

その結果、我が公認会計士法友会の2020年10月末現在の校友会終身会員登録者数は、115名ということで、100名超という昨年度の目標を達成し、最終目標である3名の代表議員選出枠の120名にあと一歩というところにきております。(各パートナー組織は終身登録会員40名に1名の割合で代表議員を選出することができます。)公認会計士法友会としましては、今後とも校友会終身正会員の拡大に一層の注力をしていく方針でありますので、引き続き会員の皆様のご協力のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

校友会の三大行事は、2020年9月及び10月に開催予定でありました「総長杯ゴルフ大会」及び「全国卒業生の集い」栃木大会は、コロナ禍でいずれも中止(来年度に延期)となりましたが、栃木大会(宇都宮市を中心会場)は、既に開催日程まで決定しております(2021年10月23日式典)ので、会員の皆様には是非ともご参加いただければと思います。

もう一つの新年の恒例行事である「2021年オール法政新年を祝う会」は、ホテルでの懇親会の代替企画として、オンラインでの開催が予定されております。(2021年1月31日(土)開催。校友会のHPご参照。)

【ご案内】『2021年オール法政新年を祝う会(オンライン)』開催(2021年1月31日)| HOSEI Orange Community
<https://hosei-hoc.com/210131allhosei/>

毎年ご多忙の中をOBの一人として参加されている菅義偉総理大臣への就任のお祝いも企画されているようです。会員の皆様におかれましては是非ともオンライン登録参加され、コロナ禍に負けずに、大いに法政OB・OGの校友の連携を図ろうではありませんか!!

【会員寄付の拡充と本学受験生への「奨学支援金」について】

法友会として、今後、特に注力していきたい活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充していくかという課題に対する対応です。

法友会活動は会員の皆様からの会費・寄付金の浄財により成り立っています。昨今、会員の高齢化とご寄付賛助者数の減少により、当会の財政収入にも少なからず影響が出ております。

一方、活動の範囲はますます拡大しており、特に、4年前に創設し給付を継続しております本学学生に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」につきましては、嬉しいことに、その成果が年々目に見えて来ております。

【法友会「奨学支援金」制度の概要と実績】

・給付資格: 毎年11月の学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に用途を専門学

校の受講費充当に限定して5万円を給付するもの。

・給付実績：2016年度2名、2017年度5名、2018年度5名、2019年度6名

・受給者の合格実績：2018年論文式合格2名（2016年度受給者）、2019年論文式合格4名（2017年度受給者）

ということで、受給した学生の合格率は非常に高い結果が出ています。

今年度は、表彰式と懇親会が中止となりましたが、成績優秀者には、受給資格証を郵送で授与する予定です。

法友会としては、これを継続し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【最後に】

2020年度の公認会計士試験（論文式）は、例年8月の日程を11月に延期して実施されました。コロナ感染第三波の真只中を遠隔地の広い試験会場で感染防止対策をしながらの受験は相

当大変なものであったと思います。本学出身者から例年どおり多くの合格者が輩出されることを期待しています。合格発表は2月中旬に予定されており、本年前半でのコロナ感染の収束は未だ見通しが立たない状況のため、当会主催の合格祝賀会の当面の開催は困難と判断し、本学出身の合格者に対しては、合格お祝い品を郵送することとしました。本年後半以降の状況を踏まえて、あらためて、合格者全員で、合格をお祝いしご慰労する機会を作りたいと考えておりますので、会員諸氏にはなにとぞご理解のほどお願いいたします。

その際には是非とも多数の会員の皆様のご出席され、合格者の門出をお祝いし、激励し、また多くの先輩、同輩、後輩との交流懇親をはかれることを期待いたします。

コロナ禍で会計士業界も対応が厳しい状況にありますが、この逆境を好機にして、法政大学からさらに多くの公認会計士を輩出し、将来のある若い皆さんが活き活きとして集い結べる業界・魅力ある土壌となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

「フー！！フー！！法政、ガンバレ！！ガンバレ！！皆さん」

シリーズ 先輩・後輩・ご同輩 （お元気ですか）



公認会計士 法政大学監事
おた そういち
太田 荘一さん
(1977年3月 経・経卒)

田町校舎の「公認会計士講座室」で、朝から晩まで勉強をしました。そこで指導を受けた先輩や議論した同輩とは、強い絆で結ばれ、いわゆる「体育会系」に近いもので、その関係は今でも続いています。

「公認会計士OB組織である『公認会計士法友会』の会員数は現在、約700名で構成されています」
「同会の活動は、試験合格祝賀会の開催や寄付講座の開催のほか3年前から、公認会計士を目指す法政大学の学生に対する『奨学支援金』制度を立ち上げ、成績優秀者に対して会計士受験費用の一部援助を行っています。法政大学からは毎年20名前後の合格者を出していますが、経済学部出身者が過半を占めています。現在、本学の経済学部には現代ビジネス学科という会計やファイナンスを専門に学ぶ学科があるので、もっと多くの学生が公認会計士試験に挑戦し合格して欲しいですね」

経済学部同窓会会報でのOB紹介記事

「監事の業務は、理事会等に出席して、理事とは独立した立場で、法人の運営や経営が適正に行われているかをチェックするほか、大学、付属校の各部署や事務管理部門等の現場にも赴いて責任者から状況聴取、また、総長や学部長からヒアリングを行い、教育・研究の現場の状況を把握する等、年間40日以上勤務しています」
「公認会計士という監査の専門家の立場から、母校に思い入れは、

「母校のさらなる発展と後輩を思う心は、人一倍強い方である。（佐々木・高橋）
「監事は母校の健全な発展に大いにやりがいがある」
「現在のお仕事は、監査法人を4年前に定年退職後、個人事務所を開業しています。3年前からは、法政大学出身の公認会計士ということで、法政大学の監事を拝命し、現在に至っています」
「当時の業務は、理事会等に出席して、理事とは独立した立場で、法人の運営や経営が適正に行われているかをチェックするほか、大学、付属校の各部署や事務管理部門等の現場にも赴いて責任者から状況聴取、また、総長や学部長からヒアリングを行い、教育・研究の現場の状況を把握する等、年間40日以上勤務しています」
「公認会計士という監査の専門家の立場から、母校に思い入れは、

強い母校愛と後輩を思う心 高校時代から公認会計士を目指す

「公認会計士という監査の専門家の立場から、母校に思い入れは、

「卒業した年、公認会計士第二次試験に合格し、昭和監査法人に就職。たまたま時は、合格者の会計士補であったことが就職のきっかけで、これも法政大学出身の大先輩が人事権を握られており、いわゆるコネで入社しました。入社後、同先輩から、私の入社試験の英語の成績は良かった、と思われ、大学の講義室によく顔をだし、そこで多くの後輩との関係もできました」
「公認会計士法友会の会長をされていますが、」
「「ええ4年前、長年にわたって同会の発展に貢献された和食店先輩から引き継ぎました。法政大学出身

「また、その講座室で受験指導を受けた先輩や有志で議論した同輩とは強い絆で結ばれ、いわゆる「体育会系」に近いもので、その関係は今でも続いています」
「一方で、学生運動で市ケ谷キャンパスは占拠され、期末試験は中止、レポート提出しただけで卒業しました」
「卒業後は、先輩方諸氏のおかげで、今や法政大学出身者であることは、大きなブランドになっている。法政大学出身者であることに自信と誇りをもって社会で天に活躍して欲しい」
「夢は80歳代でエージシユートを指針や信案、好きな言葉などは、」
「生涯現役を目指しています。明治維新後の近代国家を築き上げた当時の人物像に憧れを感じています。愛読書は司馬遼太郎の『坂の上の雲』です」
「趣味は、」

「公認会計士という監査の専門家の立場から、母校に思い入れは、

雑感

酒井宏暢(昭和57年卒)



今年の日本シリーズも、ホークスがジャイアンツを4タテし日本一となりました。

パ・リーグは力勝負、セ・リーグは技巧野球と野球の質の違いが指摘されていますが、本質はオーナーの野球への入れ込み方の違いだと思います。ホークスのオーナーは、頻繁に球場に出向き直接応援し選手と接したり、惜しみなくファーム施設に資金を注ぎ込むなどしています。よそでは今でも二軍練習場が河川敷にある球団があると

聞いています。まあ余剰資金で過去の有名選手の墓場にもなっていますが。

私がホークスファンになったのは、南海からダイエーに経営権が移転したダイエーホークス1年目からです。当時、民営化したJR九州の監査で福岡に転勤していた中(31年ほど前)、最初のキャンプが自宅近くの厚生年金会館グラウンドで開催されました。通常キャンプは四国高知とか九州宮崎、沖縄とか温暖地で開催されますが、1年目は開催場所が見つからなかったのでしょう。福岡は裏日本で、冬は週に1~2日しか晴れない気候なのでキャンプ地には適しません。ベビーカーに長女を乗せ家内と3人で見学に行きました。初めてプロ野球のキャンプでスター選手の豪快なプレーを間近にて、すっかりホークス野球に魅了されたのです。

弱小球団だった発足当初から1999年に初優勝し、最強になった現在に至るまで、関東地区での観戦、福岡での日本シリーズ、そして宮崎キャンプの視察が毎年の我が家の日課となっています。

またシーズン中は、CS放送のTV、radikoのラジオと常にウォッチしている毎日です。

福岡転勤は、上司に鉄道会社監査のメンバー入りを希望したところ、福岡事務所赴任(所員1名)との交換条件を提示されたためでした。

監査現場では、現金主義・予算消化主義にこびりついた方々の指導に苦慮しましたが、九州人の人情で温かく接していただきました。

子供の頃からの鉄道マニアだったのですが、福岡赴任前の3年間、大手繊維会社の大阪本社に年間90日くらい出張があり、帰りの新幹線食堂車(食堂車は途中で廃止、その後は座席)で毎回大宴会を繰返すことにより、すっかり「飲み鉄」化してしまっただけです。

今でも出張帰りの新幹線、関東近郊帰りのグリーン車で必ずプッシュと音を立てています。

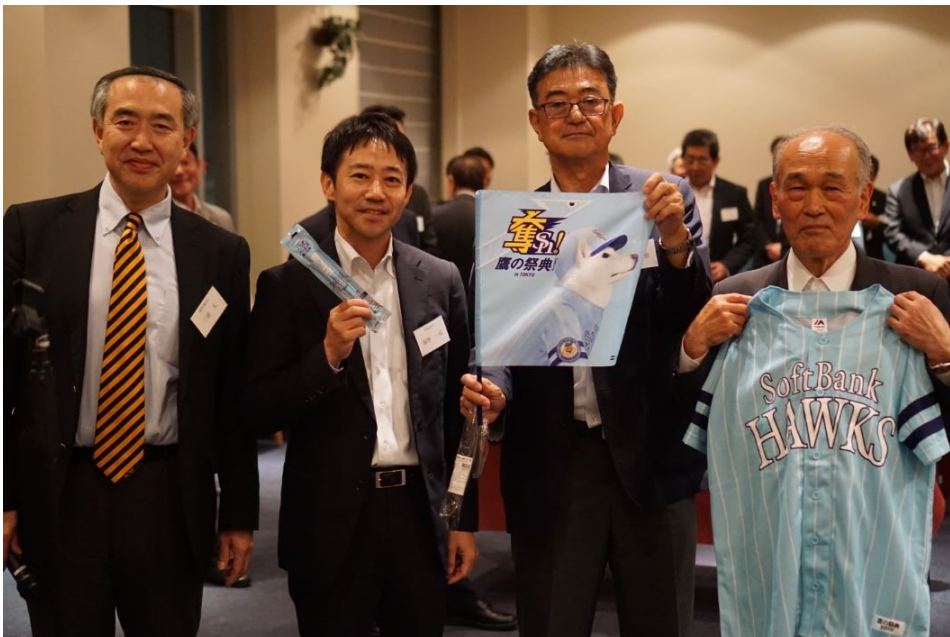
3年半の福岡赴任後、現在所属する東陽監査法人に移籍し、しばらく金融・証券関係の監査業務に従事していましたが、15年ほど前から再び運輸関係を担当しております。

その間、生まれ育った地元千葉の私鉄、関東・東北のバス会社多い時で8社、モノレール会社などを担当しておりましたが、今年度をもってローテーション任期満了により任務完了となりました。

現在は、各コンビニートからJR貨物主要駅まで石油や化学品を運ぶ、関東地区の臨海鉄道3社の監査業務を担当しています。

臨海鉄道各社は、JR貨物の関連会社で、国鉄時代の風土と雰囲気を残す、居心地のいい空間です。

監査法人の定年まであと4年余りとなり、最後の余生を再び鉄道会社監査に捧げる思いの今日この頃です。



2019年7月の定期総会時。ソフトバンクのグッズ抽選会。



法政士業の会便り

小場貴之（昭和63年卒）

東京六大学野球春季リーグ戦は4勝1敗、46回目の優勝となりました。良かったですね。

続く秋季リーグ戦は2勝6敗2分け勝ち点3の5位と終わり、残念でしたが、来年に期待しましょう。

さて、「法政士業の会」の近況について、ご報告いたします。

1. 法政士業の会の近況

「法政士業の会」は、新型コロナウイルスの影響で役員会の開催も難しく、満足な活動ができない1年となりました。組織会員たる公認会計士法友会、法政法曹会、法政会計人会、不動産鑑定士橙法会、行政書士オレンジ会、法政司法書士会の各会の定期総会もイレギュラーな形となりました。

「法政士業の会」は会則で「定時総会は毎年1回、特別な理由がない限り11月に行う。」

と定められておりますが、昨年は総会を行わず、9月末で締める年度会計・監査報告を各組織会員に送付するという寂しい結果になりました。

2. 菅総理へ祝電

2020年9月14日の自由民主党総裁選において、法政大学出身の菅義偉先輩が第26代総裁に選出され、同日に99代内閣総理大臣に選出されました。我々、「法政士業の会」は、菅義偉先輩に祝電を打ちました。益々のご活躍を祈念いたします。

3. 「法政士業の会」のHPについて

「法政士業の会」にはHPがございます。ご興味のある方はぜひご覧ください。HPのアドレスは<https://www.hoseishigyo.net/>になります。「法政士業の会」で検索してもすぐわかると思います。

4. 法政大学中小企業診断士オレンジ会の発足

最後に、法友会会報28号の「法政士業の会」便りでもご報告しましたが、2020年3月に中小企業診断士オレンジ会が発足しております。当会への組織会員としての入会をお願いしておりますが、現段階では検討中とのことです。

会費等納入の御礼

令和2年度に会費・寄付を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

青谷 貴典	赤岩 茂	渥美 龍彦	飯塚 昇	五十嵐 正明	石川 正敏	石出 康子
伊藤 章子	井上 倫哉	梅村 一彦	太田 莊一	大野 厚夫	大谷 はるみ	越智 一成
尾町 雅文	柿沼 幸二	葛西 晋哉	加瀬 兼司	金子 祐大	神谷 佑樹	河合 三彦
河西 正之	北村 敏雄	君和田 和子	草深 文理	倉持 直樹	桑原 正信	神田 忠二郎
古田土 満	齋藤 太郎	酒井 宏暢	坂下 貴之	島田 幸樹	杉本 喜代美	高村 茂
竹澤 隆国	竹部 直一郎	竹村 謙一	舘内 宏宣	遠山 景一	富樫 健一	豊島 忠夫
中村 幸信	中山 理恵子	西浦 正和	西澤 利雄	橋爪 宏徳	橋本 美奈子	春山 直輝
藤田 利弘	發知 敏雄	本間 寛	前田 大輔	松原 恭司郎	三浦 太	森口 輝来
安井 洸治	矢部 豊	吉田 実貴人	和食 克雄			

校友会終身会員新規登録者(所属変更を含む)

下記の方は、年度同期会から所属変更を行っていただきました。

(敬称略)

成田 史弥

令和元年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

●佐藤祐己(平成28年卒)

法友会の皆様、いつもお世話になっております。佐藤祐己と申します。私は平成28年にキャリアデザイン学部キャリアデザイン学部を卒業し、卒業後は在学中からお世話になっていた法律事務所で事務員として働きながら令和元年度公認会計士試験を合格いたしました。

現在は有限責任監査法人トーマツに勤めております。

・公認会計士を目指したきっかけ

私が公認会計士を志すに至ったのは、一人の弁護士の方に出会ったことがきっかけでした。

私は在学中、趣味でフットサルをしており社会人のフットサルチームに所属していました。活動としては毎週末フットサルをし、年に二度合宿を行う程度でしたが、そのチームメイトの一人がその弁護士の方でした。大学3年生の2月ごろ、就職活動直前のタイミングでその方からうちの事務所で働かないかと誘っていただく機会があり、さっそく翌週から働き始めることとなりました。

働き始めてからは新鮮な出来事ばかりの日々でした。そのような日々の中で、自分の価値観に大きな変化が生じてきたことを実感しました。それは労働に対してでした。

労働には義務や縛りなど苦しいイメージを持っていましたが、この法律事務所での労働は自由で人の役に立つことで対価をいただいていることを強く実感するものでした。自分もこのような働き方がしたいと強く思いました。

このときに、独立ができて現実的に目指すことのできる資格は何だろうと調べるうちに公認会計士が候補に挙がりました。

・受験生活

法律事務所で働きながら勉強をしていたということもあり、すごく大変だった記憶があります。朝5時に起きて勉強して、仕事終わってからも勉強して、ご飯はカロリーメイトを食べるだけの時もありました。

それでも、充実していて非常に楽しかったと思いつけるのは、誰かにやらされているわけではなく自分で選択したという前提があったからだと思います。

また、職場では難関資格受験の難しさや大変さを理解してくださっており、時間の融通やリフレッシュとして飲み会を開いてくださっていたため、仕事がストレスと感じたことは一度もなく、感謝しても感謝し足りません。

・監査法人での業務

入社して10か月ほどが経過しました。リモートが主になり、監査チームの方や会社の方にお会いする機会が少なく、コミュニケーションが難しいと感じている最中です。表情や仕草がコミュニケーションに与える印象の影響は大きく、文字で意図を伝えること、汲み取ることが何よりも大事なスキルだと痛感しています。また、業務の理解がまだまだ浅く、周りに迷惑ばかりかけていますが、それでも優しく指導してくださるチームの方に報いるべく今後も努力を積み重ねていきたいと思っています。

・プライベート

休日では、監査法人の同期と過ごすことが多いです。お酒を飲むことが好きなのでよく日本酒やワインなどを飲みに行ったり、家で各自が旅行先の地酒を持ち合って飲んだりしています。

また、遠出をすることもあり、先日は同期と3人で山中湖にサイクリングをしに行きました。天気に恵まれきれいに富士山を見ることができ、ほったらかし温泉という山の高いところにある温泉では甲府の街並みを見下ろしながら温泉につかることができました。

監査法人は数年で多くの方が辞めてしまいますが、同期のつながりはそれから残るものだと思います。公私ともに支えられる関係となるのでこれからもよい関係を築いていきたいです。

・最後に

先日は令和元年度公認会計士合格祝賀会にお招きいただきありがとうございました。令和になり初めての合格者ということもあり、元号単位で比べられることも今後多くなるのかもしれませんが、その際に令和合格の会計士は良くないといわれまいよう精進してまいります。まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



●船見謙太（令和2年卒）

皆様

はじめまして。2020年3月に法政大学を卒業致しました、船見謙太と申します。今はあずさ監査法人第5事業部で働いています。

私は岡山県出身で東京にあこがれを抱き、大学から上京してきました。当時高校生だった私は、将来の夢や目標、思い描くキャリアプラン等一切ありませんでした。

こうして今、自分が会計士試験に合格し、東京で社会人として働いているとは想像もつきませんでした。

私が会計士を目指したきっかけは、入学してすぐの法政大学で行われたHAPPという公認会計士育成講座の説明会でした。教壇に立たれた公認会計士の先生の姿がかっこよく、いつか自分もあんな風な大人になれたらいいなと思いました。

会計士の試験勉強はとても長くつらかったが、周りの人の支えもあり合格することができました。これからたくさんのひとに恩返しができるのいいなと思っています。

4月に監査法人へ入所しかれこれ9か月がたちました。日々業務に追われ忙しい毎日を過ごしています。コロナの影響もあり、往査や事務所、棚卸立会に行く機会は減ってしまいました。

補修所もほぼすべてe-ランになってしまい同期のみんなと会う機会は激減してしまいました。さらに、今年は楽しみにしていた宿泊研修も中止となり、とても残念です。

コロナの影響により、おうち時間が増えたかと思いますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。新たな趣味や娯楽を始めた方もたくさんいるかと思っています。

私は、とにかくゲームにはまっています。よくオンラインのサッカーゲームで友達と対戦します。気づいたら5,6時間たってしまうなんてことも多々あります。

一方で、大流行した「どうぶつの森」を始めて見たのです

が、3時間ほどで飽きてしまいその後、一切プレイすることはありませんでした。

やはり、人には合う合わないがあるのだと感じました。仕事に関しても同じことが言えると思います。自分がやりがいを感じるができる仕事は人それぞれ異なると思っています。

自分にとってのやりがいを感じる仕事を模索し、充実した会計士生活をおくれるよう、いろんなことにチャレンジしていきたいです。

監査だけではなく、税務やコンサル業など会計士にはたくさんのキャリアプランがあると思います。どのような業務が自分にとって一番合っているのかしっかり考えながら向き合っていきたいです。

何事にも挑戦することは大事だと思いますので、まずはふるさと納税に挑戦したいと思います。

先輩会計士に高知県須崎市の小島水産、カツオのたたきを一押しされましたので、皆様にもご共有させていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



公認会計士法友会事務局

〒169-0074

東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

12月末現在の会員数 758名

ホームページもご覧ください。

<http://hoyukai.la.coocan.jp/>



編集後記

新型コロナウイルスの影響で、集団での会合、懇親会等が中止となっていますので、友好団体の総会・懇親会への参加報告はありません。

奨学支援金の対象者を決める、高度会計人育成センター主催の簿記チャンピオン大会も、オンラインで実施し、表彰式や懇親会は行われませんでした。

公認会計士試験合格祝賀会は、昨年はタイミングが良かったので、実施できましたが(他大学では実施できなかったところもあったようです)、今年はスケジュール

的にも、コロナ対策的にも延期せざるを得ないと判断しました。

しかし、オンラインで何とか開催しようというイベントが増えてきましたね。ただ、大人数の場合、双方向でのやり取りは、まだまだ難しいのが現状ですが、ITの力で、いずれ、解決するのではないかと考えています。

そうはいつても、対面で語り合える環境は必要だと思いますので、はやくコロナが収束してほしい限りです。

物故者について

今年度において、下記の会員の方が永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 小川 文男、故 筒井 英治、故 高崎 正嗣

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大学会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円(一口)だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座にお願いいたします。

銀行口座 三菱UFJ銀行 東中野支店(店番152)

普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会

<連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

公認会計士法友会事務局

080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い

会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウントینگ専攻)の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思っておりますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。